



# 落五便り

10月号

新宿区立落合第五小学校

## 太陽光発電

副校長 湊 仁

日ごとに秋の気配が色濃くなってきました。過ごしやす季節になり、勉強にスポーツにと大いに励みたいものです。子ども達は8日に行われるかがやき全校遠足をととても楽しみにしています。



さて、2学期に入って施設面で変わったことがありました。夏休みの間に太陽光パネルを設置（本校軽体操場屋上）し、8月25日（火）の2学期始業式から、その電力利用が始まりました。ただ、学校全体の電力をまかなうだけの容量はなく、基本は従来通り東京電力によるものですが、太陽光パネルによって発電される電力は優先的に利用できるシステムになりました。

仕様は次の通りです。

○ソーラーパネル40枚 ○日射計1 ○気温計1

最大10kw相当の電力を発電する設備です。

さらに、これらの発電容量等がリアルタイムで分かる表示モニターを玄関ホールに設置しました。どのくらいの発電量がわかります。また、画面は数秒ごとに入れ替わり、グラフや数値で分かりやすく表示されます。子ども達が少しでも発電量をイメージできるように、「蛍光灯何本分」、「液晶TV何台分」と電力量を換算して表示されます。

ところで、太陽光発電のメリットは何でしょうか。

電気を作る時にCO<sub>2</sub>を出さない。

電気を作る時に音や振動を出さない。

化石燃料などちがいがい、無くなる心配がない。

住宅の屋根で発電できる。

等です。つまり環境に優しいのです。その需要はますます高まっています。東日本大震災以降、急激に太陽光の利用率が伸びています。今年も全国の電力シェアの6%を担っているとのニュースを聞きました。しかし、太陽光発電は良い所ばかりではありません。「電気を安定して供給できない。設置費用が高い。」などです。普及にはまだまだ時間がかかりそうです。

近年の異常気象・自然災害から、地球温暖化に対する危機感をつのらせている人が増えてきました。温暖化をストップさせることは人類全体に課せられた大きな課題です。太陽光パネルの設置を機に子ども達に少しでも環境問題を意識してもらいたいものです。

日	曜	10月の行事予定
1	木	都民の日
2	金	ゲーム集会 避難訓練 かがやき班活動
3	土	落五まつり
4	日	
5	月	全校朝会 安全指導 特時A
6	火	
7	水	外国語活動 研究授業3年（3年以外4時間授業）
8	木	かがやき全校遠足（弁当）
9	金	図書委員会発表 環境学習（4年）
10	土	
11	日	
12	月	体育の日
13	火	全校朝会（遠足予備日）・給食無（弁当）
14	水	外国語活動 4時間授業
15	木	委員会活動⑥
16	金	音楽朝会
17	土	避難所開設訓練（受付9:30～本校） ジョイントコンサート（二中）
18	日	
19	月	全校朝会 特時A
20	火	
21	水	外国語活動 4時間授業
22	木	クラブ活動⑨
23	金	委員会紹介集会 学芸会係活動①
24	土	
25	日	
26	月	全校朝会 特時A
27	火	社会科見学（3年）
28	水	外国語活動
29	木	クラブ活動⑩
30	金	音楽朝会 学芸会係活動②



### 10月の目標

- ◎生活目標：物を大切にしよう。
- ◎保健目標：目を大切にしよう。
- ◎給食目標：すききらいなく何でも食べよう。

## 道徳授業地区公開講座を振り返って

道徳主任 川上 るり子

今年度の道徳授業地区公開講座は9月19日(土)に今年度の道徳授業の公開、そして図書館スタッフの林由美子先生をお招きしての講演会という形で行いました。

授業公開では「友情・信頼」「思いやり・親切」「情報モラル」を主題に行いました。各クラスとも、子どもたちに今の自分を見つめさせ、今後自分がどのように生きていくことが大切かを考えさせる授業を行いました。ぜひ、今後も「道徳の時間」の話題を夕食などの家族団らんの時の話題の一つにしていだけたらありがたいです。

また、講演会では図書館スタッフの林由美子先生から「豊かな心と本との出会い」をテーマにお話いただきました。

林先生ご自身が歌人として活動しておられますので、俵万智さんの「サラダ記念日」を通して、何気ない日常を言葉で表現することの面白さや素晴らしさをお話いただきました。

また、本は豊かな心を育てるために、とても有効であるというお話もいただきました。本の中の別世界に旅に出て、そこで想像力を膨らませ疑似体験することによって豊かな心が育つこと、さらに、豊かな心が生まれれば人の気持ちを考えたり、相手に対して思いやりの心をもったりすることもできるようになることなどをお話いただきました。

さらに日本の昔話の大切さについてもお話いただきました。「今の子どもたちは言葉を知りません。例えば「わらじ」「反物」などといった言葉は今、ほとんど使いません。でも、昔話を読んでいけばわか

かります。言葉を豊かにするためにも「昔話」は大切です。また最近では昔話のオリジナルの話を知らない子どもが多いのではないかと心配です。テレビのコマーシャルに出てく

る桃太郎や浦島太郎や金太郎が本当だと勘違いしないかと・・・ぜひ、日本の昔話を読み聞かせて下さい。」ともお話いただきました。

テレビやゲームなど刺激的なものが多い昨今ですが、じっくりと本を読み、想像力を働かせて本の世界に浸る。そんな時間が子どもの心を豊かにするのではないかと感じました。

講演会の最後には保護者の方、地域の方と一緒に本校の図書室に足を運び、図書室内にある本の解説をしました。また「わが子の読書の悩み相談」にも快くのってくださり、和やかな雰囲気での講演会は終わりました。

「道徳」も「読書」も豊かな心を育むためには大切なものです。家庭、地域、学校が一体となって子どもたちの豊かな心を育てていければいいなと強く思います。



公開講座

## 3年生の活動

3年担任 佐藤 順

◆**体育の授業から**：1学期にはゲーム領域の「ファイヤーテ

ィーボール」を行いました。単元前半は、ルールを工夫して楽しむことに重点をおいて、子どもたちからいくつかのルールの改正案が出されました。その際、“みんなが楽しめるルールにすること”を条件に考えさせたら、攻めも守りも楽しくプレーできるルールができあがりました。単元後半は、作戦を工夫して楽しむことに重点をおきました。自分のチームの特徴を生かした作戦を考え、協力しながらプレーすることができました。この単元を通して、チームで協力して学び合うことの大切さを学習したと思います。今は、ゲーム領域の「ファイヤーキャッチバレー」を行っています。友達と協力しながら用具の準備・片付けを行い、作戦を工夫してゲームに取り組んでいます。

◆**全校遠足に向けて**：3年生は、全校遠足に向けて、かがやき班のメンバーと協力しながら活動しています。9月25日に行われたかがやき集会では、遠足に向けての計画を立てました。6年生の班長を中心に、めあて、遊びの内容、整列の仕方などを班で話し合っ

て決めることができました。3年生もとても楽しみながら話し合いに加わっていました。当日のかがやき遠足では、中学年の立場で、高学年を助けたり、低学年の面倒を見たりできるようになってほしいと思います。また、歩道を歩くマナーや電車に乗るときのマナーをしっかりと守って安全で楽しい遠足にしてほしいと思います。

## かがやき遠足に向けて

特別活動部主任 武藤真純

10月8日(木)は全校児童が待ちに待った「かがやき遠足」です。今年度も、班ごとに遠足のデザインを考えて、オリジナルの缶バッジを作りました。6年生が作ってくれた缶バッジをつけて、わくわくしながら、井の頭公園に向かいます。午前中は、動物園でかがやき班を2グループに分けて、オリエンテーリングをします。ここでも班ごとの協力の場面を見ることができ

るでしょう。午後は、原っぱに移動してお弁当を班で食べます。その後、班ごとに準備してきた遊びをめぐってやる計画です。本校は単学級なので、ともすれば子どもの集団が固定しがちです。そこで、異年齢の縦割り班活動を「かがやき班活動」と名称を明確にし、積極的に取り組んでいます。そのことで、同級生のみならず様々な年齢の友達と交流し、集団の中での役割が広がり、子ども同士の交流が深まってきています。その活動の一つとして「かがやき遠足」を位置付けています。今年度は「かがやき遠足安全に楽しむなっしい、ひゃっほー」を合言葉に6年生を中心に企画を進めてきました。どの班も4月から進めてきた仲間づくりの成果を十分に発揮し、きっと、楽しい秋の一日になること

でしょう。かがやき遠足の様子をお子様からもぜひお聞きください。